

内閣府男女共同参画局「地域におけるチャレンジネットワーク環境整備推進事業

平成17年度

滋賀県女性のチャレンジ支援事業

報告書

滋賀県では、様々な分野で能力を発揮したい女性、チャレンジしたい女性を応援しています！

実施事業

- ・ 滋賀県女性のチャレンジ支援連絡会議の設置
- ・ 女性のチャレンジ支援講座
- ・ チャレンジシンポジウム2005滋賀
- ・ 男女共同参画県民提案事業
- ・ 女性のチャレンジ支援フォーラム
- ・ 女性のチャレンジサイトの開設



滋賀県

平成17年度 滋賀県女性の チャレンジ支援事業概要

少子高齢化の進展、国内経済活動の成熟化など、社会経済情勢の急速な変化に対応していく上で、男女が互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、極めて重要です。男女があらゆる分野で活躍できる社会の実現は家庭生活とその他の活動を充実させ、ひいては社会全体の発展に大きな利益をもたらすものと考えられます。

滋賀県では、女性が社会の様々な分野で個性と能力を十分に発揮して活躍することを支援するため、平成16年度より県単独事業として「女性のチャレンジ支援講座」を開催しました。

平成17年度は、さらに県内関連機関とのネットワーク化を進めつつ、チャレンジ支援の環境を整備してきました。

1 滋賀県女性のチャレンジ支援連絡会議の設置

チャレンジしたいと考える女性が必要な情報を効率的に入手できる情報提供システムや人的ネットワークを構築することは重要です。

そこで、県内のチャレンジ支援関連機関からなる「滋賀県女性のチャレンジ支援連絡会議」を設置し、各支援関連の情報・意見交換を行うとともにITによる情報のワンストップをはじめ、総合的な情報提供体制の整備の検討等を進めました。



詳細は
p4

2 女性のチャレンジ支援講座

女性が個性と能力を十分に発揮しえない現状を踏まえ、様々な分野における支援策とチャレンジの実際についての学習機会およびニーズに応じた資料提示・情報提供の場として、「女性のチャレンジ支援講座」（全6回）を開講しました。

また、各回講座後にパネラーおよび講師と受講者の意見交換の場として「Q&A」の時間を設けました。

第2回の開講日には、県内で活躍する女性達による「チャレンジショップ」を開設したところ、多くの人でにぎわいました。



詳細は
p5-6

3 チャレンジシンポジウム2005滋賀

誰もが自らの能力と意欲によって、夢や希望を実現することが可能な社会の実現に向け、ビジネスの舞台などで活躍する女性の意見を発信することで、チャレンジの気運を醸成するとともに、男女共同参画社会づくりに対する理解を深めることを目的に開催しました。



パネル
展示

内閣府、京都府、奈良県、兵庫県をはじめ、本県からは、就業、農業、起業、ボランティア、キャリアアップなど滋賀県女性のチャレンジ支援連絡会議の構成機関を中心に専門機関からの出展による、女性のチャレンジ支援の取組や男女共同参画の推進に関わるパネル展示を行いました。



詳細は
p7-10

4 男女共同参画県民提案事業

県内各地で行政とNPOとの協働による男女共同参画社会づくりを進めるため、NPOからフォーラムや講座の企画を募集し、公開プレゼンテーションを含む審査を経て協働事業を選定しました。NPOと県が委託契約を結び、実施運営をNPOが行いました。



詳細は
p11

5 女性のチャレンジ支援フォーラム

県が行うチャレンジ支援の取組を広報することにより、チャレンジしようとする気運の一層の醸成や、市町および各支援機関等における女性のチャレンジ支援の取組が促進されることを目的として、講演会や男女共同参画県民提案事業実施者によるパネルディスカッションなどを行いました。また、平成17年度「女性のチャレンジ支援」事業の取組を報告しました。



詳細は
p12

6 女性のチャレンジサイトの開設

女性の様々な分野での活躍のきっかけとなる支援情報を種々の機関が数多く提供しているにもかかわらず、チャレンジしたい女性が必要とする情報を効率的に得られるとは必ずしも言えない状況にあります。

そこで、県内にあるチャレンジ支援関連機関の実施事業、相談窓口、講座やイベントといった情報を網羅し、総合的に掲載するインターネットのサイトを開設しました。チャレンジする女性にとって次の一歩を踏み出すためのヒントとなる身近な事例を紹介するページも掲載しています。



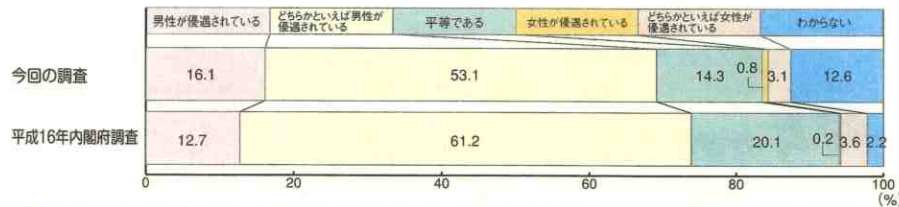
詳細は
p13-14

数字で見る女性のチャレンジのニーズ

1 年齢階級別女性労働力率の推移



2 社会全体における男女の地位の平等感



3 ボランティアおよびNPO活動、地域活動への参加率

- NPOの法人認証数 (滋賀県NPO活動促進室データ)
平成11年度では12件であったが、平成17年12月現在では、258件となっている。
人口10万人あたりの法人認証数 全国9位
- 生活行動のうちボランティアに関わる時間等
ボランティア活動・社会活動に参加する行動率の高さ (平成13年社会生活基本調査)
滋賀県:39.3% 全国平均:28.9% 全国3位
- 自由時間における「まちづくり活動」の行動率 (平成13年社会生活基本調査)
女性:22.3% 全国平均:14.1% 全国1位

4 農業分野における活動

- 農産物の直売所数 20箇所
- 道の駅 14箇所(一部直売所と重複)
- 農村女性による起業活動 個人:26件 グループ:105件
(平成16年農村女性による起業活動実態調査)

滋賀県では、以上の現状を踏まえ、再チャレンジや横へのチャレンジ、農業分野へのチャレンジのニーズが高いとみて、女性のチャレンジ支援事業をすすめました。

1

滋賀県女性のチャレンジ支援連絡会議の設置



女性が意欲と能力に応じて社会の様々な分野で積極的に活躍できるための環境づくりの一環として、県内のチャレンジ支援機関(12機関)による「滋賀県女性のチャレンジ支援連絡会議」を設置しました。

平成17年度は、各機関が行う事業等の情報の共有化、IT環境整備(チャレンジサイト開設)に伴う協議等を行い、相互の連携を図りました。

平成18年度は、各チャレンジ支援策の共同実施の検討を行うなど、さらに連携を深めて行く予定です。

第1回 会議開催

平成17年8月12日(金)
13:30-16:30



- ①基調講演
「今、なぜ女性のチャレンジ支援が必要なのか」
講師 京都大学大学院 教授 伊藤 公雄さん

- ②統計で見る滋賀県の現状および事業趣旨説明
- ③各機関から女性のチャレンジ支援関連事業概要説明

伊藤教授には、国をあげてチャレンジ支援に取り組むこととなった背景、またその内容・方向性等についてご説明をしていただき、男女共同参画社会とは、「性別にかかわらずそれぞれの個性が発揮できる選択の自由=多様性に開かれた『多色刷り』社会の実現である」とご講演いただきました。

連携により期待されること

- 様々な分野の各機関が連携して取り組むことで、総合的かつ加速度的に女性のチャレンジが促進される。
- 多様な分野における女性の人材育成を図ることで、政策・方針決定への女性の参画が促進される。
- 女性のチャレンジが促進されることで、地域の活性化が期待される。

第2回 会議開催

平成18年1月26日(木)
14:00-16:30

- ①「女性のチャレンジサイト」掲載概要の検討
- ②今後の連携について
平成18年度の当連絡会議の連携の進め方、次回開催等について、確認をしました。

